三河地域ベンチャースカウト大会

実施要項

日本ボーイスカウト愛知連盟碧　海地区
日本ボーイスカウト愛知連盟豊　田地区
日本ボーイスカウト愛知連盟穂の国地区
日本ボーイスカウト愛知連盟三河葵地区

名　称　ボーイスカウト愛知連盟三河地域ベンチャースカウト大会2027

主　催　日本ボーイスカウト愛知連盟碧　海地区
日本ボーイスカウト愛知連盟豊　田地区
日本ボーイスカウト愛知連盟穂の国地区
日本ボーイスカウト愛知連盟三河葵地区

後　援　一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟（予定)、三河地方内各市町教育委員会（予定）

テーマ　自身で挑戦し、地域や自然、仲間を大切にする。

目　的　目的：海・山・川の自然や産業拠点に恵まれた三河地域で、スカウト自身がプロジェクト（企画）を計画・実行し、高度な野外活動や社会奉仕、自己の夢を挑戦し、地域の魅力を知り、仲間の大切さを感じる大会とする。

目　標　⑴スカウトの目標

①参加スカウトは、自分自身でやりたいことを見つけ、プロジェクトの企画、計画、実施、評価ができるようにする。

②参加スカウトは、団の仲間もしくは、地区の仲間とベンチャー会議を行い、自分と合う仲間とチームを作り、企画、計画について、アドバイスをもらい、ベンチャー会議で議長に承認を得る。

③参加スカウトは、自分の考え方や行動力、リーダーシップなど、自分の得意なものを見つけ、それにあったプロジェクトを企画する。

④参加スカウトが行いたいプロジェクトで支援を出来そうな、三河地域の指導者やインストラクターなど見つけ、活動に伴う計画は事前準備をできるようにする。
また、その場合は、自分からアポイントメントを取り、活動が終わったら感謝の言葉をかける。

⑤参加スカウトは、時に応じ、隊指導者の支援を求め、プロジェクトの承認をもらう。

⑥三河地域の魅力を再発見し、その地域の大切さを知る。

⑵隊指導者の目標

①スカウトの夢やチャレンジしたい野外活動をどんなものでも挑戦できるように、また、地域の魅力あるプログラムを提供できるように知識を蓄え、人脈を形成する。

②団（少人数の場合は、地区もしくは、合同隊）でベンチャー会議を行える環境を作り、企画や計画の発表会を実施し、魅力あるプログラムをそれぞれが作っていることを共有できる環境を作る。

対　象　⑴参加スカウト

三河地域内の各団所属のベンチャースカウト
（三河地域外のスカウトも人数に余裕があれば、参加を受け入れます。）

・所属隊長の参加承認を必須とします。

・参加者は2～3名のチームを編成し、役割分担をして参加をする。

⑵大会運営スタッフ

ローバースカウトおよび成人指導者

・三河地域内の各団のベンチャー隊指導者は、各団1名以上必ず奉仕を行う。

⑶三河地域以外のスカウト、指導者の参加について

ベンチャースカウト及び、ローバースカウト、成人指導者

・三河地域の参加スカウト、大会運営スタッフに準じて参加を認める。

・参加スカウトがいる際は、必ず、最低1人以上の成人指導者が奉仕を行うこと。

参加費 ⑴参加スカウトは、1人あたり8,000円（予定）+プロジェクトで必要な経費・交通費

上記予算には、2026年10月からの工程時の会場使用料、最終日1泊2日の夕食、朝食及び、プログラム等に要する経費（派遣期間中のプロジェクト交通費、経費、小遣いは含まない）。

⑵運営スタッフは、1人あたり8,000円（予定）とする。

上記予算には、最終日1泊2日の夕食、朝食、風呂代、プログラム等に要する経費（派遣期間中のプロジェクトの引率及び、安全対応などの交通費、経費、小遣いは含まない）。

※参加費に関しては、概算のため、準備委員会を設置後、改めて、検討する。

工　程 2026年12月中旬　　参加スカウト参加説明会と第1回（集合型）プロジェクト会議

2026年12～2027年1月　　各プロジェクト企画の作成

2027年1月中旬　　第2回プロジェクト会議及び、発表会

2027年1月～2月　各プロジェクトの計画（下見が必要な場合は下見）

2027年4月1日(木)～4日(日)　　三河地域ベンチャースカウト大会開催

期　間 2027年（令和9年）4月1日(木)～4日(日)

⑴4月1日(木)～3日(土)は、直接各プロジェクトで計画した場所から開始。

※隊指導者がそれぞれ支援を行う。

⑵集合　4月3日(土)　13時　報告会実施野営（もしくは舎営）地集合（場所未定）

報告書作成、夕食による交流会、全チームプロジェクト発表（場所未定）

⑶解散　4月4日(日)　12時

※大会本部は、スカウトが計画したプロジェクトを支援しやすい場所に設置する。

場　所 4月1日～3日昼まで　各ベンチャースカウトのプロジェクトにより各地域にて実施。

4月3日昼～4日まで　現在未定

組織と運営

各役務

⑴大会長（副大会長）大会全般の総理

⑵運営本部長（副運営本部長）　大会長の命を受け、大会全般についての指導、監督

⑶各部長、副部長（全体行事部、野営管理部、プロジェクト支援部、総務部）

⑷各地区ローバー（もしくはローバース）代表

各部の役務

⑴全体行事部

・全体行事の運営（4月3日夕方実施、プロジェクト発表会・交流会及び、開閉会式の運営）

⑵野営管理部

・スカウトがプロジェクトを運営しやすいように、全日程の野営地、舎営地を多く調査し、チームがプロジェクトを行う際に、野営、舎営をどこでも行えるように資料化し、管理主等の交渉を支援する。

・4月3日～4日の野営地及び舎営地を選定し、予約、管理を行う。

⑶プロジェクト支援部

・プロジェクトの企画や計画がしやすいように、第1回目、第2回目のプロジェクト会議の運営を行う。

・プロジェクトの企画、計画の段階で、地元企業、行政等で関わることが必要な内容であれば、その交渉をできるように支援をする。

⑷総務部

・参加者名簿管理

・会計（決算報告まで）

・渉外（プロジェクト発表会時の来賓対応）

・4月1日～3日昼食までの大会本部の食事運営

※4/3夕食、4/4朝食はスカウトと同様のため、野営管理部の食材に一任。）

・期間中の傷病者対応及び、4月3日～4日の救護所設置

傷病対策

⑴4月1日～3日昼までは、各団で対応。傷病で病院に通院、緊急搬送時があった場合は、大会本部に連絡をし、状況確認を行う。

⑵4月3日昼～4日開催時までは、大会本部で救護所を設置し、その対応を行う。